



子どもガイド養成講座 現地研修・閉講式

白水台地の陽光「さん」



子どもたちが南小校区の地域の良さを深く知り、郷土を愛する心と、学んだことを誇りをもって話すことのできる力を養成するために開講した「子どもガイド養成講座」。菊陽町教育委員会と南部町民センターのご支援を得ながら、講師として、内田清晴様、矢野誠也様、前田千佳子様、の3名を迎え、計5回開講しました。①6月14日(金)開校式・アニメーション「加藤清正公の水ものがり」②6月28日(金)3年生「水について考えよう」、4年生「白川と馬場楠井手のお話」③9月6日(金)3年生「鼻ぐり井手と生活(眼鏡橋を含む)」、4年生「鼻ぐり井手の昔の地図や作った時のお話」④9月13日(金)3年生「井手を掘って馬場楠堰から水を取り入れるお話」、4年生、「鼻ぐり井手の仕組みや清正公のお話」⑤10月25日(金)現地見学・閉講式、以上のような流れで行いました。5回目の現地見学では、3名の講師の先生と、井口眼鏡橋、鼻ぐり井手、馬場楠堰・取入口の3カ所を見学して、まとめのお話を聞きました。子どもたちは熱心にメモを取り、時には質問をし、意欲満々でした。閉講式では、講師の先生から「学んだことを、自信をもって地域の人たちに伝えてください。」と励ましの言葉をいただきました。3年生にとっては、11月17日(日)鼻ぐり井手祭が、子どもガイドのデビューの日になります。どうぞ温かい応援をお願いします。

ところで小学校は、来年度から、新しい教育の内容「新学習指導要領」の完全実施になりますが、その中のキーワードが「社会に開かれた教育課程」です。(保護者の皆様や地域の皆様のお力添えをいただきながら、よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を達成していきます。)菊陽南小学校の「子どもガイド養成講座」は、まさにこの新学習指導要領の趣旨に即した取組ですので、さらに充実させていきたいと考えています。



5年生「稲刈り」

曲手の西岡和明さんの田んぼを借りて、田植えや、米作りの体験をさせてもらっています。子どもたちは、その間で米の生育についての観察は行いましたが、除草、水の管理、消毒等、多くのことを西岡さんにお世話になりました。その米が、秋になり見事に実り、この度、鎌で稲刈りを行いました。稲刈り体験は、ほとんどの児童が初めてだったようですが、だんだん上手になり、広さ50平方メートル程度にあった稲を、あっという間に刈り取りました。刈り取った稲は、昔ながらの掛け干しにしました。貴重な体験になりました。



3年生「いきいき集会での発表」

朝の集会で、3年生が英語での発表をしました。本校では、外国語活動を研究の中心にしており、各学年で力を入れて取り組んでいます。今回は、3年生が、自分名前、好きな食べ物・嫌いな食べ物、好きな色について、1人1人外国語で伝えていました。低学年からは、「私たちも早く外国語を勉強したい。」という感想が出ていました。

